

平成22年度 第15回ジャパンオープンハンドボールトーナメント 試合結果・戦評報告書

競技日	8月17日(火)	試合番号	Cみ[C(Ⅱ)]	回戦	決勝
種別	男子	会場	キリンビバレッジ周南総合SC(C)		

Aチーム名 / (都府県)			Bチーム名 / (都府県)		
Honda			長崎社中		
(三重県)			(長崎県)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
26	15	前半	10	22	
	11	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

決勝戦は、昨年の優勝チームを下し、東海代表となったHonda(三重県)と九州代表長崎社中(長崎県)の対戦となった。どちらも初優勝をめざす。Hondaのスクワットで開戦。長崎社中は高いディフェンスでパスカットを狙う。一方、体格で勝るHondaは5番河瀬のポストプレーを軸に攻撃を組み立てていく。先制点はHonda河瀬のポストシュート、すぐに長崎社中は13番岩尾の素早いステップシュートで応戦。Hondaは序盤河瀬にボール集め得点を重ねる、長崎社中は7番岩尾の3連続得点で、15分過ぎ5-5の同点とする。中盤Hondaは10番青山のポストシュート、9番高見のサイドシュートなどで得点。しかし、長崎社中は積極的な出足で11番三宅のミドル、8番竹田の速攻と23分過ぎには10-9と1点リードを奪う。たまたまHondaはタイムアウト。ここから流れをつかんだHondaが13番瀬元のシュートもあり、一気に6得点して15-10で折り返した。後半、流れをつかんだHondaが優勢に試合を展開。長崎社中は三宅、岩尾を軸に得点を重ねるが、Hondaは8番伊藤、11番野島の得点、キーパー大畠の好セーブなどで点差を詰めさせない。長崎社中は最後まで気迫あふれるプレイを展開したが及ばず、Hondaが26-22で試合を制し、初優勝をした。

記載者氏名

上野 勝之

送信日時

8月 日 () :

送信者サイン